

トータルライフサポート

5年間で県内5施設に 提携先から高齢者受け入れ

沖縄県内で高齢者施設を運営するトータルライフサポート研究所（沖縄県沖縄市）は今後5年間で、県内の施設を現在の1施設から5施設に増やします。ジャスタック上場です。首都圏・関西圏で高齢者

施設を運営するロングライフホールディングとこのほど資本業務提携を結んだことから、同社から高齢者の受け入れに備える。

資本業務提携は3日付。ロングライフがトータルライフサポートの株式を69株取得し、議決権所有割合を15%とした。提携に伴い、トータルライフサポートはロングライフの顧客の要望に応じて、長期滞在や移住を受け入れる。

トータルライフサポートは2008年3月から沖縄市で介護付き老人ホ

ーム「美里の杜カシータ」（60床）を運営。満床状態が続くことから、来年4月にうるま市に県内2番目の施設として「津嘉山の杜ヒルトップカシータ」を開業する。

看護師を24時間常駐させるほか、デイサービス施設も併設し、高齢者の受け入れ態勢を整える。

ロングライフは「震災以降、電力供給や放射線被害を懸念して、沖縄への移住を希望する高齢者が増加した」として、移住や長期滞在の需要拡大を見込んでいる。